

## 令和2年度実施の認証評価結果における大学等の優れた取組みについて

公益財団法人 日本高等教育評価機構

### 1. 大学

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 1. 使命・目的等	1-1. 使命・目的及び教育目的の設定	岐阜協立大学	「公設民営」の大学の特色を生かし、「地域に有為の人材を養成する」という教育目的に基づき、地域の保健・医療ニーズに対応できる人材育成のための看護学部を開設するなど、地域社会からの理解を得るために各種施策を実践している点は評価できる。
		嵯峨美術大学	大覚寺学園の伝統と歴史及び取巻く環境等を全学的な取組みをもって丁寧に振り返り、建学の理念を堅持しながら現校名に変更したことは、地域で愛称とされてきた「嵯峨美」の伝統や個性・特色の社会への明確な表明となり、学生募集にも奏功している点は評価できる。
		東北医科薬科大学	東北の地における薬学教育の先導を開始し、東日本大震災に起因する未曾有の医療崩壊からの復興のため、医学と薬学の専門性を修得し地域住民の健康と福祉に献身的に貢献していることは評価できる。
		東北工業大学	三つのポリシーに基づく学士力の要請に加え、総合的人間教育の観点から、三つのポリシーに学生の生きる力を高めるための「指導(Guidance)ポリシー」を加えた、四つのポリシー「AEGG ポリシー」を策定して、教育目標を明確にしていることは評価できる。
		明治国際医療大学	鍼灸分野の高等教育機関のパイオニアとしてその特徴を生かし、人材育成のみならず、少子高齢化で人口減少が進む地域社会の発展に大学をあげて取り組んでいる点は評価できる。
	1-2. 使命・目的及び教育目的の反映	岐阜協立大学	建学の精神・教育目的を、大学ホームページ及び大学案内を通し、視覚的に訴える図も用いて、ステークホルダー全般へ理解しやすく公表している点は評価できる。
		こども教育宝仙大学	「Mission (使命)、Vision (将来像)、Value (自校の価値)」の策定及びそれを具体化した「こども教育 HOSEN WAY プロジェクト」について各委員会等で分担し、全教職員が取り組んでいることは評価できる。
		埼玉医科大学	三つのポリシー、アセスメント・ポリシー等の策定、点検・評価及び改正を図る「埼玉医科大学ポリシー等策定委員会」に、学外者や学生代表を委員とし意見を求めている点は評価できる。
		産業能率大学	4年ごとに、「将来ビジョン」と「中期経営方針」を詳細に策定し、「中期活動計画」として小冊子にまとめ、全教職員に周知・徹底して使命・目的の実現に努めていることは評価できる。
		種智院大学	弘法大師空海の教え、種智院の存在意義及び教育理念の理解と大学で学ぶ意義を形成することを目的に、全学生を対象に必修科目「種智院学」を開設していることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 1. 使命・目的等	1-2. 使命・目的及び教育目的的の反映	西武文理大学	「建学の精神」「教育方針」「学訓」を学内の廊下・教室等をはじめ随所に掲示して、学生へ積極的に周知することにより、理解度を高める成果が挙げられていることは高く評価できる。
		福井工業大学	専門分野の教育研究内容に、理工学の基盤・応用技術領域だけでなく文理融合領域を設け、総合的な観点から教育研究が実施できる組織となっていることは評価できる。
		明治国際医療大学	必修科目として「大学の教育と研究」を1年次に設け、また、「建学の精神」「教学の理念」の象徴でもある「和」と「心」の文字を常に学生・教職員の目に触れるべく校舎の壁に刻印するなどの理念の周知と定着を目指した取組みは評価できる。
基準 2. 学生	2-1. 学生の受入れ	足利大学	日本語学校教職員が選ぶ留学生に勧めたい進学先アンケート「日本留学 AWARDS」において、平成26(2014)年度から5年連続で、東日本地域の私立大学理工系部門の大賞を受賞し、殿堂入りを果たしたことは、留学生志願者の増加にもつながっており評価できる。
		久留米工業大学	アドミッション・ポリシーに沿った学生を受入れるために、一般入試、センター試験利用入試においても、志望理由書と調査書を点数化して評価対象としている点は評価できる。
		埼玉医科大学	全ての入学者選抜において面接を行い、アドミッション・ポリシーに沿った入学者の確保に努めている点は評価できる。
		東北医科薬科大学	東北地方における医師不足の解消を大学としての使命と認識し、医学部のアドミッション・ポリシーの中で、東北エリアの医療に貢献できる人材の育成を明示している点は評価できる。
		日本文理大学	入学後の GPA、退学率、就職・進学率等について入試種別ごとにデータを分析し、入試方法の改善に取り組んでいる点は、評価できる。
		明治国際医療大学	はり師・きゅう師・柔道整復師の国家資格取得に並行して、アスレチックトレーナーの育成プログラムを融合し、独自の「メディカルアスレチックトレーナー」の育成制度を発足させ、スポーツトレーナー志願者の取込みを図っていることは評価できる。
		大和大学	入学者の基礎学力を入学後に追跡調査して、入学試験制度の改善に役立っていることは評価できる。
	2-2. 学修支援	植草学園大学	聴覚障がいや内部障がいのある学生に対し、学長を議長とする「障害等のある学生支援会議」を定期的に関催して支援策を検討し、前者にはコミュニケーション支援設備や学生への研修、後者には移動式ベッドなどの支援を充実している点は高く評価できる。
		大阪電気通信大学	図書館では、学生が習熟度に応じたレベルの英語書籍を読むリーディングシャワー、自分が読んだ本の魅力を伝えるコミュニケーションゲームであるビブリオバトルなどの取組みを行い、それまで年間15,000冊程度であった貸出冊数が、現在では10万冊以上となるなど、利用率が向上している点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-2. 学修支援	岐阜協立大学	保護者からの要請に応え、学生が入学時に記入する「保健カード」や「特別なニーズをもつ学生の支援会議」のもと、障がいのある学生等への支援が適切に行われていることは評価できる。
		くらしき作陽大学	学生支援システムを効果的に活用して、学修状況等を常にアドバイザーが把握しており、定期的に学生と面談を重ねることによって、学生一人ひとりの個別的事情に配慮した指導、助言を行い、体系的な学修・生活支援が実現されていることは評価できる。
		久留米工業大学	基幹教育センターの教員が初年次の物理・数学の授業に担当教員の補助として参加し、学修困難を抱える学生の支援を連携して行っている点は評価できる。
		埼玉医科大学	保健医療学部において、平成 21(2009)年から毎年開催されている「医療人教育者のためのワークショップ」は学部の教育力向上のため、教職協働で継続されている真摯な取組みであり、その姿勢は高く評価できる。
		産業能率大学	学生による学修支援活動団体「Shares」が、「学習支援センター」やアカデミック・アドバイザーと連携して、入学後から就職まで、学生同士による学修支援の仕組みを構築している点は評価できる。
		種智院大学	視覚障がい、高次機能障がいなど障がいの内容や程度に応じて、障がいのある学生への配慮が細やかに行われている点は評価できる。
		東京未来大学	入学前から卒業後まで、一貫して学生を支援する目的で事務局の名称を EM 局と改め、総合的に学生支援に取り組んでいることは評価できる。
		東京未来大学	各クラスに CA を配置し、クラス担任や科目担当者等と連携して細やかな学生支援を行う体制がつけられている点は評価できる。
		東邦音楽大学	在学中の 4 年間を通じて、建学の精神に沿った学生の基礎力向上やキャリア教育の充実などの学修支援を目的とし、クラス担任制による科目として「東邦スタンダード」を開講している点は評価できる。
		東北工業大学	障がいのある学生に対応して、「障がいのある学生への修学等の支援に関する規程」を定め、更に「障がい学生支援委員会」を設置して、全学的な支援体制を整備し運営していることは評価できる。
		東北生活文化大学	学生が職業を有している場合や、その他家庭の事情等により 4 年間での履修が困難な場合、長期履修制度を設け 4 年分の学生生徒等納付金で最長 8 年間の在学を可能にしており、社会人学生に対して手厚い配慮がなされている点は評価できる。
日本文理大学	リメディアル科目である「基礎学力講座（国語）」「基礎学力講座（数学）」をクォーター制で複数回開講し、早期に基礎学力を身に付けさせている点は評価できる。		
八戸工業大学	多様な学生を受入れている中で、担任制度を採用し、学生支援センターによる講義保証などのさまざまな支援により退学率が低い点は高く評価できる。		

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-2. 学修支援	福井工業大学	全学生を対象に「障害のある人たちとの地域での共生を考える」をテーマとした講義を実施し、障がいに対しての理解促進だけでなく、障がいのある人への支援を行う人材育成につながる活動を行っていることは評価できる。
		酪農学園大学	フィールド調査や実習などで授業を公欠した学生に対して、ライブ授業の動画を配信し、学習管理システムを活用して教材配付と課題提出等を行っていることは、高く評価できる。
	2-3. キャリア支援	大阪商業大学	学生成長記録「S-Log」、学生成長サポート調査「S-Check」及び学生成長サポートワーク「S-Work」は大変優れたシステムであり、学生の成長を有効に支援する仕組みとして評価できる。
		大阪商業大学	学生が「将来豊かな人生をおくるための進路を選択する能力、そして社会の一員として自立できる能力を養成する」ことを基本方針として、キャリアサポート室が実効性のある支援を行っている点は評価できる。
		大阪電気通信大学	教育開発推進センターと就職部が連携して構築した大学独自のキャリア教育プログラムは、情報コミュニケーション学会全国大会で研究奨励賞及びシステム開発文書品質研究会(ASDoQ)主催の「ASDoQ2017」で最優秀賞を受賞したことは評価できる。
		岐阜協立大学	1年次から、キャリア形成科目を教育課程内に正課として取組み、社会人としての必要なコミュニケーション能力、問題発見・解決能力などの社会人基礎力、そして就職のための「就職力」を育成している点は評価できる。
		久留米工業大学	キャリアサポートセンターを核として、キャリアサポートセンター運営委員である教員と就職課の職員による協働が実現され、キャリア教育、インターンシップ、就職支援等の活動が連動して実施されている点は評価できる。
		埼玉医科大学	「課外学習プログラム」において、多様なテーマによる課外学習の機会を提供し、キャリア支援や学修支援を充実させていることは評価できる。
		嵯峨美術大学	平成 30(2018)年度から、独自に開発した就職活動支援スマートフォンアプリ「SAGABiZ」の提供を開始し、毎日更新することで学生がタイムリーな情報を得ている点は評価できる。
		大同大学	求人情報や学生の就職情報に関して「D-act システム」を構築し、これらの情報をオンライン集中管理することにより、就職支援・指導の利便性を向上させている点は評価できる。
		東北医科薬科大学	薬学部では、宮城大学看護学群と専門職連携教育を、宮城県内 3 大学と模擬症例検討会を行うなど、医療系他大学と専門の枠を超えた連携教育を実施しており、幅広い視野を持った医療人の育成を積極的に進めている点は評価できる。
		日本文理大学	福岡県内で開催されるインターンシップフェアや業界企業セミナーに、「インターンシップ説明会支援バス」及び「就職支援バス」を無料で運行し、学生の就職活動を支援している点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-3. キャリア支援	八戸工業大学	一貫したキャリア教育や就職課の支援だけでなく、個々の教員が積極的に支援することにより、極めて高水準の就職率を維持している点は高く評価できる。
		福井工業大学	大学職員が常駐している事業所をタイに設けるなど、海外インターンシップを積極的に実施していることは評価できる。
		大阪商業大学	「教職員のための相談室ハンドブック」は、教職員がどのように学生相談に臨むかについての確に記されたハンドブックであると評価できる。
	2-4. 学生サービス	大阪商業大学	各学科全ての必修科目を原則3時限目までに配置する時間割編成とし、学業とクラブ活動の両立をサポートしていることは評価できる。
		大阪電気通信大学	自立支援室長や、四條畷キャンパスの学生支援には専従の教員が雇用され、その業務に当たっていることは評価できる。
		大阪電気通信大学	学部・学科のグループ担任と学科ごとの担当を定めた共通教育機構の教員が学生の修学状況等の情報を共有しながら、学修支援や離学防止等に連携して当たっていることは評価できる。
		岐阜協立大学	学生生活を安定させるための大学独自の基準に基づく奨学金制度がきめ細かく設けられ、手厚い支援が行われている点は評価できる。
		産業能率大学	課外活動支援の一環として、プロスポーツチームとの連携活動に取組み、学生・教職員の一体感を醸成し、またスポーツビジネスを学ぶ場を提供している点は、評価できる。
		種智院大学	対人関係の苦手な学生を支援するプログラムである「ソーシャルスキルトレーニング」が定期的開催され、コミュニケーション力の向上などにおいて効果を上げている点は評価できる。
		東北医科薬科大学	東日本大震災をはじめとする東日本各地での大地震で被災した学生に対して、授業料等の減免処置を行うなど手厚い特別支援を行っている点は高く評価できる。
		福井工業大学	留学生への支援活動を積極的に行い、「日本留学 AWARDS」の西日本私立大学理工系部門において、平成 25(2013)年度から 6 年連続で優秀校に認定され、更に平成 26(2014)年度から 5 年連続で大賞を受賞するなどの実績を挙げていることは評価できる。
		福井工業大学	大学公認の SSL プロジェクト（「鳥人間プロジェクト」「Ene-1Gp 電気自動車プロジェクト」「FUT 学生フォーミュラプロジェクト」）について、テクニカルサポートセンターが中心となつての技術的指導、工作機器等の使用説明及び安全教育などの支援を行っていることは評価できる。
		明治国際医療大学	「こころの相談室」と附属病院の連携は、学生の心的支援を円滑にする点で評価できる。
		大和大学	学生支援において担任教員が第一の窓口になり、支援の内容によって担任教員自身や関連部署に対応を割り振り、相互に密接な連携を図りながら学生の多様な相談や支援に対応していることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-5. 学修環境 の整備	足利大学	教育目的達成のため、教育研究活動を支援する、ICT教育の拠点としての「情報科学センター」、地域社会・産業界との連携窓口としての「総合研究センター」、高度医療への対応としての「看護実践教育研究センター」を設置し、地域社会や産業界との連携や学生教育に活用している点は高く評価できる。
		大阪商業大学	「ユニバーシティ・コモンズ リアクト」にある「金魚鉢」の愛称で呼ばれている教室は、360度をガラス張りとする事で、学生にとっても教員にとっても良い緊張が生まれる新たな教育の場を提供している点は評価できる。
		熊本保健科学大学	学生数の増加に伴う共有スペースの収容能力低下に対して、計画的に用地を確保し段階的に整備を進めるとともに、ラーニング・コモンズとアカデミックスキルラボ施設を含めた総合図書館へのリニューアルにも着手し、快適な学修環境の整備に努めている点は評価できる。
		久留米工業大学	100号館は、学生の福利厚生施設、ラーニング・コモンズから教室につながる動線が意識されているとともに、建築構造や建築設備が見えるように設計され、建物自体が建築、エネルギーシステムに関する生の教材となっているなど、高い教育効果をもたらすよう整備されている点は評価できる。
		埼玉医科大学	常勤図書館職員の過半数が「ヘルスサイエンス情報専門員」の認定を受けており、大学の方針として、専門性の向上に努力している点は高く評価できる。
		種智院大学	全館車椅子で移動可能なバリアフリーが整えられ、京都府福祉のまちづくり条例適合施設、京都市が認定する国際基準に合った利便性に配慮された施設になっている点は評価できる。
		帝京科学大学	キャンパス内に大学附属の接骨院や動物病院、保育園を整備し、学生の専門的・実践的な実習施設として活用している点は評価できる。
		東邦音楽大学	オーストリア国ウィーン市に、学生の短期研修を目的とする宿泊室、練習室、図書室及び食堂等からなる研修施設「東邦ウィーンアカデミー」を設置し、活用していることは評価できる。
		東北工業大学	仙台市中心部にサテライトキャンパスを開設し、学生や教職員、関係者の作品・研究成果の展示、ワークショップや研究発表などに利用し、大学の地域連携や研究成果発信の活動拠点として有効に機能している点は評価できる。
		八戸工業大学	運動場や体育施設が充実しており、地域のスポーツ大会の会場として貸出す機会も多く、地域に貢献している点は評価できる。
		文化ファッション大学院大学	「文化学園ファッションリソースセンター」など、各種の施設を含め、教育目的を達成するための共用の施設・設備が非常に充実しており、快適な学修環境が整備されていることは評価できる。
明治国際医療大学	体育館、柔道場、武道場、照明付き陸上競技場、人工芝サッカー場、ゴルフ練習場などの体育施設が充実しており、体育授業、課外活動を積極的に取組んでいることは高く評価できる。		

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-6. 学生の意見・要望への対応	愛知産業大学	学長自らが、毎月の「学長オフィスアワー」に加え、全ての新生と学長室で面談を行って学生の心身の状況や意見・要望をきめ細かに把握し、学修支援及び環境の改善に努めている点は高く評価できる。
		植草学園大学	学生代表が教務委員会に出席して、履修関係、時間割、学修に関わる学内設備等について意見を述べる体制が整備されており、学修支援体制や学内環境の改善に結びついていることは高く評価できる。
		埼玉医科大学	医学部カリキュラム評価委員会において、学生代表が構成員とし審議に参画する制度は、学生の意見・要望を把握する優れた取組みであり、高く評価できる。
		多摩大学	より良い学生支援を行うために、IR推進室と協働しながら「学生満足度・学生生活実態調査」などを実施し、学修支援に関する学生の意見・要望の把握・分析と検討結果の利活用をしている点は高く評価できる。
		東京未来大学	学生の要望・意見のくみ上げに加え、学生生活に関する相談等についても、CAが中心的な役割を担っている点は評価できる。
		八戸工業大学	学生の意見をくみ上げる目的で設置する「意見箱」投書に対し、匿名意見には掲示回答、記名意見に対しては面談対応などを行い、真摯に学生対応している点は評価できる。
		身延山大学	「大学進学・満足度アンケート調査」と「大学満足度アンケート調査」は、新生も含めた全学生の要望を把握することを可能としており、学修・生活環境に関する学生の要望に基づく改善に効果を上げている点は評価できる。
基準 3. 教育課程	3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定	愛知産業大学	単位認定基準の成績評価において「学習過程評価（授業内評価・授業外評価）／学習成果評価（定期試験）」で評価するシステムを設定し、成績評価の公平性を厳格に確保している点は評価できる。
		久留米工業大学	卒業研究が学修の集大成として位置付けられ、ルーブリックによる厳格な評価が実施されている点は高く評価できる。
		産業能率大学	入学後のガイダンス、シラバスの記述、初回授業と中間回での科目担当者からの説明、学生による授業評価アンケート等、さまざまな機会を通して学生にディプロマ・ポリシーと、その達成度を振返る機会を設定し、ディプロマ・ポリシーの実質化を図っていることは評価できる。
		西武文理大学	教育理念にある「ホスピタリティ」教育がカリキュラム全体に反映されており、その教育に対する学生の満足度が高いことは高く評価できる。
		東北医科薬科大学	薬学科において、ディプロマ・ポリシーの各項目に対応したルーブリック表を学群ごとに設定し、学生の学修状況を確認するための手段として導入している点は、ディプロマ・ポリシーの実質化に向けた学修を促すシステムとして評価できる。
		東北工業大学	平成 28(2016)年度より、大学が認めた本人の責に抛らない欠席に対し、これを補完する仕組みとして、相当学修の特別指導を受けることで欠席の取消しを行うことを明確にしている点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準3. 教育課程	3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定	日本文理大学	「産学一致」「人間力の育成」「社会・地域貢献」という教育理念が、ディプロマ・ポリシーの策定、単位認定基準や卒業認定基準の策定に一貫して考慮されている点は評価できる。
		森ノ宮医療大学	「森ノ宮医療大学コモンルーブリック」を作成し、全学共通の評価指標で授業評価に取り組んでいる点は評価できる。
	3-2. 教育課程及び教授方法	環太平洋大学	学生FDを実施し、学部・学科の教育活動の点検に学生を直接的に参画させている点は評価できる。
		京都看護大学	全ての学生にタブレット型パソコンを支給し、反転授業等に活用する等、授業内容・方法の工夫を行っていることは評価できる。
		くらしき作陽大学	大学COC事業を発展的に継承し、新たに開講した9科目において、学生が倉敷市内の地域貢献活動に主体的に取り組める機会を作成したことは評価できる。
		くらしき作陽大学	「英語多読教育」のために、附属図書館の洋書の整備を図るとともに、オンライン上に英語多読の学修記録を残せるシステムを構築したことは高く評価できる。
		久留米工業大学	ディプロマ・ポリシーと一貫したカリキュラム・ポリシーを形成する上で、演習や実験科目における教育方針としてアクティブ・ラーニングなどを取り入れ、実施内容についてFD研修を行うなど、組織的に取り組んでいる点は評価できる。
		こども教育宝仙大学	教育実習・保育実習に関しては、学生一人ひとりに対し小規模校ならではのきめ細かい実習指導が行われており、スタッフが常駐する実習指導室がさまざまな相談や情報収集のため多数の学生に利用されている点は評価できる。
		産業能率大学	AP(大学教育再生加速プログラム)事業を継続的に展開する中で、全ての科目でアクティブ・ラーニングの技法を取り入れようとしており、更に必修科目においてPBL型授業を導入するなど、効果的な授業方法の工夫・開発に努めていることは評価できる。
		種智院大学	仏教学科では、特別科目としてインド現地での「スタディーツアー」や修験道を体験する「修験学実践講座」等、学科の特色を生かした体験的授業の取組みが見られる点は評価できる。
		種智院大学	少人数の対面授業によって真言宗の儀式作法を実践的に学修できるよう工夫している点は評価できる。
		西武文理大学	体験・実習型の産学・地域連携による教育プログラムや、産学連携によるPBL型の科目、グローバル社会に向けた産学協働企画による学修プログラムなど、ホスピタリティを育むための教授方法を工夫・開発し効果的に実施していることは高く評価できる。
		大同大学	教育開発・学習支援センターを設置し、教授方法の改善のための「研究授業」を全科目に対して実施するなど、教授方法の改善に組織的に取り組んでいる点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 3. 教育課程	3-2. 教育課程 及び教授方法	東邦音楽大学	独自のテキストである「表現を高めるための毎日のピアノエクササイズ～10の基礎テクニック～」を出版し、活用していることは評価できる。
		東北医科薬科大学	医学部ではディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの一貫性を明確にするため、アウトカムとコンピテンシーを、科目レベルでも設定している点は評価できる。
		長崎総合科学大学	「平和を学ぶ」「ながさきを学ぶ」といった共通科目も開講され、地域特性に配慮した教養科目を設置している点は評価できる。
		新潟医療福祉大学	「チーム医療・ケア」を学ぶ学修方法として、一つのゼミが複数の学科の学生によって構成され、教員も複数学科から配置されて実施されることは、大学の目指すチーム意識の形成に役立つ取組みとして評価できる。
		八戸工業大学	特待生制度の中に、高学力・高意欲学生を対象とした特別養成コースが設置されており、全学科共通の特別専攻科目群が設定されている点は評価できる。
		八戸工業大学	学生の多様なニーズに対応するため、学科横断型のプログラムを設置している点は評価できる。
		福井工業大学	「副専攻制度」を設け、11の副専攻課程を編成し、学生が所属する学部・学科以外の専門分野を体系的に学ぶことができる点は評価できる。
		文化ファッション大学院大学	カリキュラムマップにおいてカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシー及び授業科目の対応関係が簡潔・明瞭に可視化されていることは評価できる。
		酪農学園大学	大学各学群と大学院各研究科において、学内外でさまざまな実学教育が実践され、専門性の高い人材が育成されている点は高く評価できる。
	3-3. 学修成果 の点検・評価	岐阜協立大学	ICTを利用することで、授業アンケートの回収率向上を図り、加えて学生の匿名性を確保することで適正な評価を得るための工夫をしている点は評価できる。
		岐阜協立大学	学修成果の点検・評価を目的としたアンケートの結果を踏まえ、学内限定のホームページ上でのレポート提出と学生が教員からフィードバックを受ける仕組みを構築している点は、教育方法・学修指導方法の改善という面から評価できる。
		熊本保健科学大学	ディプロマ・ポリシーから12項目の到達目標を設定し、科目の成績から算出・累計した達成度と、学生の自己評価に基づく到達度をレーダーチャートで可視化できる「修学ポートフォリオ」システムを導入していることは学修成果のアセスメントに係る試みとして評価できる。
		久留米工業大学	学修成果の点検・評価について、各部署で実施したアンケートをIR推進センターで分析し、その結果を教職員共有サイト「きっと見る」において公表して教育研究活動の改善につなげている点は高く評価できる。
		東北医科薬科大学	薬学部では教員がそれぞれの学系ごとに分かれて討論会を開催し、授業内容や試験の出題範囲・問題レベルなどについて情報を共有し、学修成果の点検や評価に生かしている点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準3. 教育課程	3-3. 学修成果 の点検・評価	新潟医療福祉 大学	「STEPS」を一貫した中心概念として掲げ、それを入学前から卒業後のキャリア形成に至るまでの道筋を例示するなどして教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックすることにより、教育の質保証に取り組んでいる点は評価できる。
		日本文理大学	学位プログラム修了時に配付する、学修内容についての証明書である「ディプロマサプリメント」については、成績の可視化に係る新しい取組みとして、評価できる。
		日本文理大学	在学生に対し「プレ・ディプロマサプリメント（学生自身の能力が可視化された資料）」を新学期開講に当たり配付し、各自の伸ばすべき能力を把握させ、履修登録の際の資料として活用させている点は評価できる。
		八戸工業大学	大学独自の「20の修得因子」を定め、学修成果を評価し、ディプロマ・サプリメントとして卒業時に学生に配付するなど、学修成果の可視化に積極的に取り組んでいる点は評価できる。
		花園大学	令和元(2019)年度に「就職先企業様における卒業生の“資質・能力”に関する調査」を実施し、その分析結果を踏まえて、「主体的行動力」「課題解決力」を特に身に付けることを今後の課題と捉えるなど、訪問調査を含めた詳細な分析により報告書をまとめており、今後の教育やキャリアサポートの改善に資することが期待できる点は評価できる。
		文化ファッション大学院大学	ファッションクリエイション専攻のプロジェクト科目に導入された「自己点検・評価シート」は、学修成果の可視化、教員と学生相互の達成目標の理解に大きく役立っており、高く評価できる。
基準4. 教員・職員	4-1. 教学マネジメントの 機能性	愛知産業大学	学長が「全体会」を主催し、学内のコミュニケーションの円滑化に努めるなど教学マネジメントにおける学長のリーダーシップを適切に発揮している点は高く評価できる。
		多摩大学	大学の教育研究支援のための諸活動を支えている各種委員会において、教員だけでなく課長等の職員も副委員長等の構成員として参画し、教職協働で教学運営を行っていることは評価できる。
	4-2. 教員の配 置・職能開発 等	植草学園大学	FD研修への取組みは、欠席者に対する録画DVDの視聴などのフォローが行き届いており、受講率も高いことから高く評価できる。
		大阪電気通信 大学	授業アンケートの実施結果を踏まえて、担当教員それぞれの教育改善プランについて学修支援ポータルを活用し学生に提示していることは評価できる。
		大阪電気通信 大学	学科ごとに「KPIの指標による活動計画書」を策定し、在籍者数、入学定員充足率、離学率、進路決定率に関する数値目標や、学科独自の活動目標を設定し、達成状況を評価しながら改善を試みていることは評価できる。
		京都医療科学 大学	教員同士の授業参観に加え、学長自ら教員の授業参観を行うなど、積極的に職能開発に取り組んでいることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 4. 教員・職員	4-2. 教員の配置・職能開発等	久留米工業大学	FD委員会の下部組織である「学生・教職員教育改善部会」では学生が構成員となっており、授業改善に関する内容について意見・要望等の調査を行うなど、教育改善に向けてのFD活動に積極的に取り組んでいる点は評価できる。
		佐久大学	年間計画を立案しFD活動に取り組んでおり、アクティブ・ラーニング等、教育活動に生かすために「授業を学びあう会」を発足するなど、自発的な活動が行われていることは評価できる。
		福井工業大学	「福井工業大学国際化ポリシー」を定め、ディプロマ・ポリシー及び国際化に対応した人材育成の目標に沿った英語教育の充実・強化として、「使える」「伝わる」英語を身に付ける英語教育プログラム「SPEC」にネイティブ英語教員を10人配置し、実施している点は評価できる。
	4-3. 職員の研修	植草学園大学	若手職員の意欲的な研修を促すための「FM研修」や自主研修への補助制度があり、また、他大学から職員を招いての外部からの視点を取入れた取り組みをするとともに、研修での結果が学長等の上層部に提言され、事項に応じて業務改善に取り入れられていることは高く評価できる。
		岐阜協立大学	平成29(2017)年度に岐阜聖徳学園大学・同短期大学部とSD協定を締結し、毎年度開催する夏期研修プログラムに相互に職員を派遣している取り組みは評価できる。
		埼玉医科大学	医療系教職員だけでなく事務系職員も含む大規模なSD研修会である「日本のMayo Clinicを目指す会」を毎年度開催しており、診療に限らず研究・教育においても「患者中心主義」を志向し、全学が一体となった取り組みは高く評価できる。
		八戸工業大学	学校法人と大学のFDとSDそれぞれについて、「八戸工業大学研修会等実施計画表」で一元的に管理し、教職員に掲示している。教職員は年間を通して参加予定を立てやすく、良好な出席状況になっていることは評価できる。
	4-4. 研究支援	久留米工業大学	「パートナーモビリティ」の開発を契機に、地場企業への技術相談、技術指導の環境整備を積極的に推進しており、令和2(2020)年度には「AI応用研究所」を設立し、大学のブランド力向上に大いに努めていることは評価できる。
		佐久大学	「私立大学研究ブランディング事業」の採択を受けた「足育」研究については、大学全体としての研究を推進しており、大学の特色として高く評価できる。
		東京未来大学	「研究推進ニュースレター」を発行することで、研究の好事例を積極的に学内で共有及び学外へ発信しており、それらが学内の研究活動の活性化へとつながっている点は高く評価できる。
		東北医科薬科大学	医学部において研究室をオープンスペースとし、研究不正のリスクを抑止しつつ、研究者の交流が行われる環境を整えていることは評価できる。
		長崎総合科学大学	研究環境に関する教員の満足度調査を実施し、研究者(教員・大学院生)を取巻く研究環境の向上に取り組んでいる点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 4. 教員・職員	4-4. 研究支援	長野保健医療大学	個人の研究状況を他の教職員に開示する機会として「抄読会」を実施し、分野の異なる研究者間の情報共有、意見交換のみならず、共同研究へと発展する機会を提供していることは評価できる。
		身延山大学	「国際日蓮学研究所」における大学の強みを世界に発信する「身延文庫研究班」「法華経研究班」「ラオス世界遺産修復プロジェクト」の三つのプロジェクトは評価できる。
		酪農学園大学	「野生動物医学センター」「農業環境情報サービスセンター」「酪農学園フィールド教育研究センター」がともに研究活動が活発であり、大学の教育研究の充実化や地域貢献などに寄与している点は高く評価できる。
基準 5. 経営・管理と財務	5-1. 経営の規律と誠実性	大阪電気通信大学	「国連アカデミック・インパクト(UN Academic Impact: UNAI)」への参加が平成 30(2018)年 11 月に承認され、UNAI の定める普遍的原則に基づく地域貢献や環境保全活動を継続していることは評価できる。
		埼玉医科大学	基本理念等をまとめた「行動のしおり」を教職員、学生のみならず保護者にも配付し周知に努めている点は評価できる。
		嵯峨美術大学	地元の京都市から指定避難所として指定を受け、大学と地域の自治会や近隣の小学校が合同で定期的に避難訓練を実施し、災害時には避難所を開設して避難者を受入れており、「学校法人大覚寺学園行動規範」の実践として評価できる。
		佐久大学	環境保全について、エコ活動の促進、自然環境への具体的な取組みとして敷地内グラウンドの除草作業においてヤギやヒツジを放牧し、環境負荷を低減し、学生や教職員が動物と接する憩いの場をつくり、心身の健康保全にも役立てていることは高く評価できる。
	5-2. 理事会の機能	大阪商業大学	理事会決議録は、議題に対する説明の内容が詳細に記載され、法人の使命・目的の達成に向けた意思決定が明確に出来ていることが議事録で確認できる点は評価できる。
		京都医療科学大学	学外理事の担当する職務内容と期待する役割を明文化していることは評価できる。
		埼玉医科大学	理事会及び各理事が自己評価を行い、理事会の機能及びガバナンスの一層の強化につながっていることは高く評価できる。
		埼玉医科大学	理事の義務や責任等を著した「学校法人埼玉医科大学理事必携」を作成し、就任に際し周知をすることは評価できる。
		八戸工業大学	理事の半数近くが外部理事であり、その知見を大学改革に活用する等、外部へ開かれた理事会運営を行っている点は評価できる。
	5-3. 管理運営の円滑化と相互チェック	福井工業大学	教員又は職員の横断的なプロジェクトやワーキンググループが必要に応じて複数設置され、企画提案内容が実行されるなど、教職員の意見をくみ上げる仕組みを整備し、実績を挙げていることは評価できる。
	5-4. 財務基盤と収支	埼玉医科大学	理事長をはじめとする理事会のリーダーシップと教職員の努力により、財務状況が堅調に推移していることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 5. 経営・管理と 財務	5-4. 財務基盤 と収支	新潟医療福祉 大学	大学は、その特色になる「リハビリテーション科学 およびスポーツ科学領域における先端的研究拠点」 の基盤形成に取り組んでおり、そのための外部研究資 金の獲得件数と金額が増加していることは評価で きる。
		八戸工業大学	地域に根差した大学の特色を生かし、北東北を中心 とする企業との連携を強めつつ、充実した寄付金収 入の獲得に成功した点は評価できる。
		八戸工業大学	全学的に財務状況に関する問題意識を共有し、その 改善に向けた取組みを実施して収支の健全化を実 現した点は評価できる。
	5-5. 会計	岐阜協立大学	監査法人と理事との意見交換の機会を設けて、経営 全般やリスク管理・監査計画等についてコミュニケ ーションの促進を図っていることは優れた取組み として評価できる。
		文化ファッ ション大学院大 学	内部監査は「学校法人文化学園 監査室監査規程」 に規定された厳格な手順に基づき行われ、改革・改 善に資する提案を行う仕組みが整備されているこ とは評価できる。
基準 6. 内部質保証	6-1. 内部質保 証の組織体制	八戸工業大学	「教学監査アドバイザー」や外部評価委員会よる客 観性の高い点検・評価の仕組みを導入し、機能して いることは評価できる。
	6-2. 内部質保 証のための自 己点検・評価	愛知産業大学	学生による授業評価アンケート、卒業時アンケート や学修行動調査結果などの学修や学生生活に関わ るデータを集計・分析して大学ホームページに掲載 するなど、積極的に IR 情報を公開していることは 評価できる。
		植草学園大学	学部特性や大学運営に造詣の深い外部評価委員を 委嘱し、自己点検・評価の結果について意見を求め るなど、評価作業に協力を得ていることは評価でき る。
		岐阜協立大学	IR 機能の充実のため、職員に「IRer (IR 専門職資 格)」の取得を促し、資格取得させた点は評価でき る。
		岐阜協立大学	「教育研究推進懇談会議」を開催し、地元の企業や 高等学校の関係者等の多様な意見を聞きとり工夫 するなど、内部質保証の推進のための自主的・積極 的な取組みを行っている点は評価できる。
		埼玉医科大学	大学全体及び各学部・学科において、それぞれ自主 的、自律的な自己点検・評価を実施するシステムが 構築されている点は評価できる。
		帝京科学大学	平成 30(2018)年から「TUS-UP 帝京科学大学自己 点検・評価ニューズレター」を発行し、大学での自 己点検・評価の状況や教学マネジメント指針などの 高等教育における話題等について情報提供・共有を 図っていることは評価できる。
		東邦音楽大学	平成 27(2015)年度から外部評価を実施し、自治体 職員による①入学者選抜②カリキュラムの内容・学 修方法③学修支援④教員組織⑤施設・設備⑥社会貢 献—の 6 項目の 5 段階評価及びコメントを公表して いることは評価できる。
		森ノ宮医療大 学	作業療学科が専門分野別評価認定審査を受け、世 界作業療法士連盟における認定校の認可を受ける など、教育の質保証に積極的に取り組んでいる点は評 価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 6. 内部質保証	6-3. 内部質保証の機能性	足利大学	事業の達成度チェックとして、「事業計画に対する項目評価チェックシート」を活用し、次年度の事業計画に反映させる制度は、評価できる。
		京都医療科学大学	内部質保証のための PDCA 実施要項を策定し、IR 推進委員会のデータを根拠として大学戦略会議、教授会、各委員会の PDCA 活動の報告により、データ可視化の環境下で自己点検・評価を行い、PDCA サイクルが有効に機能していることは高く評価できる。
		八戸工業大学	内部質保証の方針を明記する「中長期目標・基本計画」を定め、使命・目的、教育目的等の実現に向けた継続的な改善活動の循環プロセスを構築し、恒常的に改善・改革を推進していることは高く評価できる。

## 2. 短期大学

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 1. 使命・目的等	1-2. 使命・目的及び教育目的の反映	自由が丘産能短期大学	4年ごとに、「将来ビジョン」と「中期経営方針」を詳細に策定し、「中期活動計画」として小冊子にまとめ、全教職員に周知・徹底して使命・目的の実現に努めていることは評価できる。
基準 2. 学生	2-2. 学修支援	作陽短期大学	学生支援システムを適切に活用して、学修状況などを常にアドバイザーが把握しており、定期的に学生と面談を重ねることによって、学生一人ひとりの個別の事情を配慮した指導、助言を行い、体系的な学生支援を行っていることは評価できる。
	2-4. 学生サービス	自由が丘産能短期大学	学生が主体になって展開する「学生会」活動は、通信教育課程の学生にとって相互につながりを持つことができる機会であり、その活動が有形無形の財産を形成できる仕組みになっていることは評価できる。
基準 3. 教育課程	3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定	自由が丘産能短期大学	「学習のしおり」はイラストと多くの「iNetCampus」の画面の写真を掲載することにより新入生にとって分かりやすく、教育職勤務マニュアルもよく整理され初任者に分かりやすく作られていることは評価できる。
	3-3. 学修成果の点検・評価	自由が丘産能短期大学	面接授業では複数教員が担当する授業ごとに科目主査を置き、授業内容の調整、教材の更新、学生の学修の状況について教員が相互に共有していることは評価できる。

## 3. ファッション・ビジネス系専門職大学院

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-4. 教育研究目的を達成するための施設・設備の有効性	文化ファッション大学院大学	「文化学園ファッションリソースセンター」など、各種の施設を含め、教育目的を達成するための共用の施設・設備が非常に充実しており、快適な学修環境が整備されていることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準3. 教育課程	3-2. 教育目的の達成に向けたカリキュラム・ポリシーの明確化等	文化ファッション大学院大学	カリキュラムマップにおいてカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシー及び授業科目の対応関係が簡潔・明瞭に可視化されていることは評価できる。
	3-5. 学修成果の達成状況の点検・評価の適切性	文化ファッション大学院大学	ファッションクリエイション専攻のプロジェクト科目に導入された「自己点検・評価シート」は、学修成果の可視化、教員と学生相互の達成目標の理解に大きく役立っており、高く評価できる。